

久 安 第 1708 号

平成 29 年 1 月 31 日

久喜市青少年問題協議会委員 様

久喜市青少年問題協議会

会長 小 松 智 子

平成 28 年度久喜市青少年問題協議会協議のまとめについて（情報提供）

久喜市青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法並びに久喜市青少年問題協議会条例に則り、平成 28 年度、2 回の協議会を開催しました。

特に、協議会では、条例第 2 条の所掌事務の規定を念頭におき、委員の皆様から多岐にわたる青少年問題の現状、課題等をお寄せいただきました。

この会議の概要は、平成 29 年 1 月 11 日付けで、会議録として送付させていただいたところですが、所掌事務を全うするために、委員の皆様一人ひとりがそれぞれのお立場で、青少年問題の現状、課題等を多くの場で、多くの方々にお伝えいただくことが大切であると考え、事務局にまとめていただきました。

青少年の健全育成は、「学校・家庭・地域社会の連携」にあります。諸般の事情をおくみとりいただき、このまとめを是非ご活用いただきますようお願いいたします。

平成 28 年度 久喜市青少年問題協議会 協議のまとめ（情報提供）

平成 28 年度久喜市青少年問題協議会では、以下の 4 つをテーマに協議を行いました。各委員から、青少年の健全育成を図るために、多岐にわたる貴重な意見等が出されましたので情報提供いたします。

協議テーマ

1 学校が、家庭・地域社会に望むこと

- (1) 日常生活上の「しつけ」をしてほしい（保幼小中高で内容は異なる）
- (2) 規則正しい生活習慣を身につけてほしい（学年段階、発達段階で異なる）
- (3) 栄養バランスの取れた食事に配慮してほしい（発達段階に即して。食に関心を持たせる）
- (4) 子どもの服装や髪型に、親の趣味を押しつけない（特に小学校）
- (5) 親の生活スタイルに子どもの生活を合わせない（夜型の生活、土日のレジャーなど）
- (6) 子どもの健全育成を考えた時、保護者の方にも、学校の指導の意図を理解していただき、できる限り学校・家庭の指導方針は統一した方向で指導にあたってほしい（特に中学校）
- (7) 授業参観等での「親の服装・態度」、学習の場に相応しい参観のあり方を見直してほしい
- (8) 授業参観等の学校行事で、自分の子どもに関係のない話題、内容になると、帰ってしまう保護者が多い。できるだけ多くの子どもの活動状況も見てほしい
- (9) 学校と家庭・地域社会が、一緒に子どもたちを育てていく意識をもってほしい
- (10) 家庭、地域社会の中で、基本的な挨拶を交すことが大切である
- (11) 地域社会の教育力を学校にかshiteいただきたい。例えば、学校支援、環境整備、安全の見守り（子どもたちの下校時に合わせて散歩に出て見守ってほ

しい) など

- (12) 体験活動、中学校での職場体験や進路講演会での講話等にご協力いただきたい
- (13) 家庭・地域社会は、児童生徒を育む学校の味方となり、応援団であってほしい
- (14) 家庭・地域社会の皆様にも、学校教育活動へ是非参加してほしい。家庭の事情により、時間的余裕のない保護者の方も、できる範囲で参加してほしい
- (15) 学校における教育活動、担任の指導方法などについて、保護者間でメールやラインのやりとり等により、事実とは異なった情報が広がってしまう場合がある。誤解が生じてトラブルにならないよう、直接、学校に連絡していただき、事実関係を確認してほしい
- (16) 現在もご協力いただいている学校応援団活動への更なるご支援・ご協力をお願いしたい
- (17) 地域社会における子どもたちの安全（交通安全も含め）を考え、見守りをお願いしたい
- (18) 家庭、地域社会で子どもたちについて気になる情報等があった時、できるだけ早く学校に知らせてほしい

協議テーマ

2 家庭が、学校・地域社会に望むこと

- (1) 教職員の多忙さは十分理解できるが、子ども一人ひとりをしっかり見てほしい（小さな気づき、こまめな声かけ）。子どもが親に相談できない悩みも、気軽に先生に相談できる環境づくりが必要である
- (2) 子どもたちの学校での生活情報（これは問題であると思われること）は、小さなうちに知らせてほしい（勿論秘密厳守）。学校での落書き等に気づいたら、家庭にも連絡してほしい
- (3) 先生には、たくさん子どもたちと遊んでほしい。子どもたちの学校での生活の場に、先生がいてほしい
- (4) 校長先生にも情報が伝わるようにしてほしい
- (5) 中学で多くの職場体験をさせてほしい

- (6) 「わが子が安心して楽しく学校に通える」、「学習している」かが、保護者の願いである。地元にある公立小中学校のメリットを活かし、地域の良さを活かしてほしい
- (7) 学校・家庭・地域社会の三者の連携を有効に活用してほしい
- (8) 学校・地域社会は、青少年育成団体と手を取り合い、健全育成を図ってほしい
- (9) 家庭で躰をしたことを、学校や地域における集団社会の中で認めていただき、さらに伸ばしていただきたい
- (10) 地域社会における子どもたちの良くない言動を見た時、即ご指導いただきたい。併せて、学校、家庭に知らせていただきたい

協議テーマ

3 地域社会が、学校・家庭に望むこと

- (1) 保護者には、フィルタリング等の知識を持って、スマホの管理をしっかりとしてほしい。子どもは、隠れてもスマホを使うので、親も使い方を学ぶべきである
- (2) 警察への少年に関する情報が少ない。警察に相談に来る時には、既に重大なことになっていることが多い。重大事件になる前に、初期の段階で、小さな情報でも警察に提供してほしい
- (3) 早寝早起き朝ご飯といった生活習慣や挨拶、感謝する心等の礼儀については、家庭で躰をしっかりとすべき

協議テーマ

4 青少年問題を事前に防ぐ対策

- (1) 久喜市には、地域に良い行事がたくさんある。子どもたちに目的を持たせ、和を持って協力して頑張っていくことにより、今現在、青少年問題を事前に防ぐ抑止力になっている。かるた大会、綱引き大会、そばづくり、など。こうした多くの行事には、たくさんの親子で参加してほしい。また、小学校の時に参加したことが、中学生、高校生になっても繋がり参加していく。やがて、参加する側から、自分がリーダーとして主催者になっていくことが期待

できる。親子や地域のつながりが、青少年問題を事前に防ぐ対策として大事である

- (2) 子どもたちを見守る環境づくりが必要である。保護者だけでなく大人に対する教育指導や地域活動への積極的な参加を促す。大人が、子どもにもっと関心を持ち、目を向けていくことが大切である。学校での講演会、研修会は児童・生徒向けだけでなく、教員向け、保護者向け等、学校・家庭・地域を参加対象に広く合同に行い、情報・知識を共有していくことが必要である
- (3) 子どもの危険察知能力が低下しているのではないか。危険察知能力を向上させるためには、どう対応していくかを考えたい
- (4) 子どもたちは、「めんどくさい」と、面倒なことから目を背ける傾向が強い。これをどう解消していくかを考えたい
- (5) 今回、意見が出た内容について、各方面で実践化を図ることが必要である。そして、各関係団体が、お互いに、報告・連絡・相談し、確認を取り合い、その状況を見守りながら、事を進めていくことが必要である

久喜市青少年問題協議会

会 長 小 松 智 子

副会長 宮 内 智

委 員 浦 住 健 一 久喜警察署生活安全課長

委 員 熊 谷 圭 太 幸手警察署生活安全課長

委 員 岡 田 浩 久喜市校長会 青葉小学校長

委 員 大 出 明 市内高等学校長 久喜工業高等学校長

委 員 沼 田 孝 司 埼玉県中央児童相談所 地区担当児童福祉司

委 員 杉 森 富美江 久喜市 PTA 連合会会長兼太田小 PTA 会長

委 員 石 井 早 苗 久喜市民生委員・児童委員協議会 栗橋東地区副会長

委 員 宮 内 智 久喜市青少年育成市民会議連絡協議会会長

委 員 坂 本 孝 夫 久喜・幸手地区保護司会 久喜支部

委 員 小 松 智 子 学識経験者

委 員 奥 澤 彰 公募による市民

委 員 諸 角 洋 子 公募による市民

委 員 山 田 恵理子 公募による市民

委 員 牧 野 直 樹 公募による市民

委 員 河 原 良 子 公募による市民